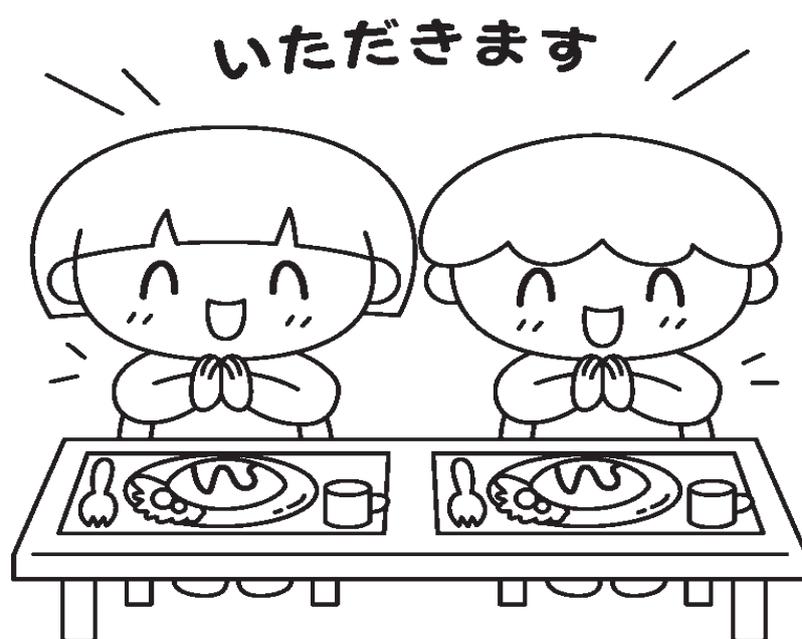


鳥羽市保育所食育計画

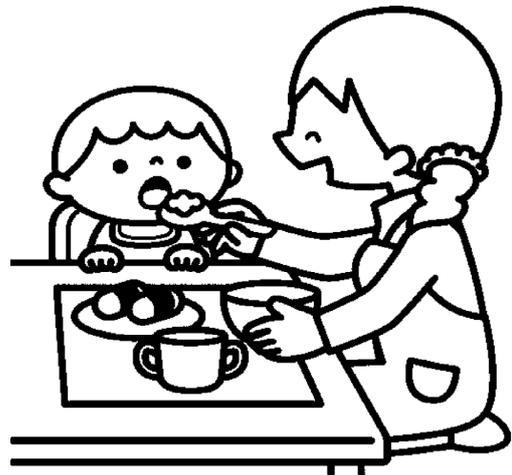


平成 24 年 3 月

鳥羽市主任保育士部会

— 目 次 —

計画策定の趣旨	1
食に関する保護者アンケートの結果	2～4
保護者からの意見・要望	5
三重県食育計画	6
鳥羽市保育所食育計画	7
・食育の年間計画(年齢別)	8～13
・鳥羽市給食年間実施計画	14
・食物アレルギーのある子どもへの対応	15
・食育実施評価シート	16



計画策定の趣旨

平成 17 年 6 月に食育基本法が成立したことにより、「食育」という言葉を耳にすることが多くなっています。食育とは、さまざまな経験を通して、“食に関する知識”と“食を選択する力”を習得し、健全な食生活を実践できる人を育てることを意味しています。豊かな人間性を育み、生きる力を身に付けていくためには何よりも食が基本となります。

鳥羽市では、未来に羽ばたく子どもたちのためにも食の大切さ、楽しさを感じることができる給食を目指しています。鳥羽市の食育計画を作成するには、全保育所の実態を把握する事が大事であると考え、保護者の方にも協力を求め、アンケートを実施しました。その結果も参考に『鳥羽市保育所食育計画』をここに作成しました。

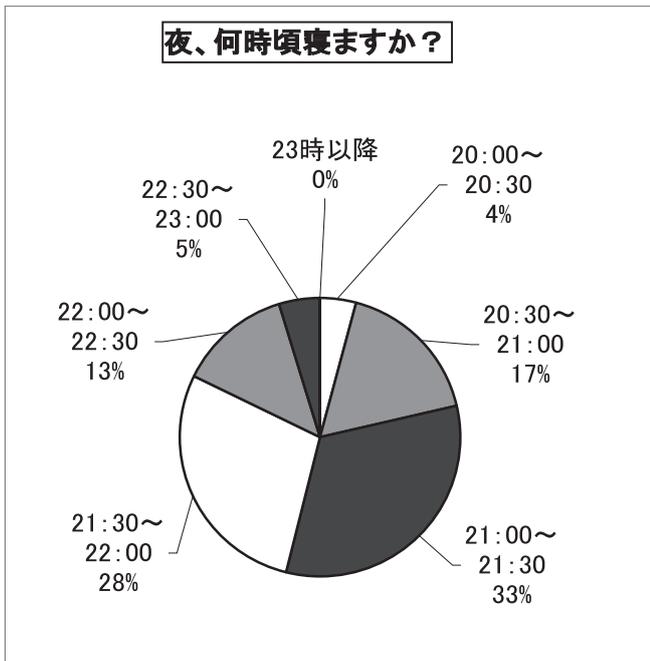
鳥羽市の子どもたちが、心身共に健やかに成長していくことができるよう、家庭や地域に食育の大切さを発信していきたいと思っています。

食に関する保護者アンケート結果

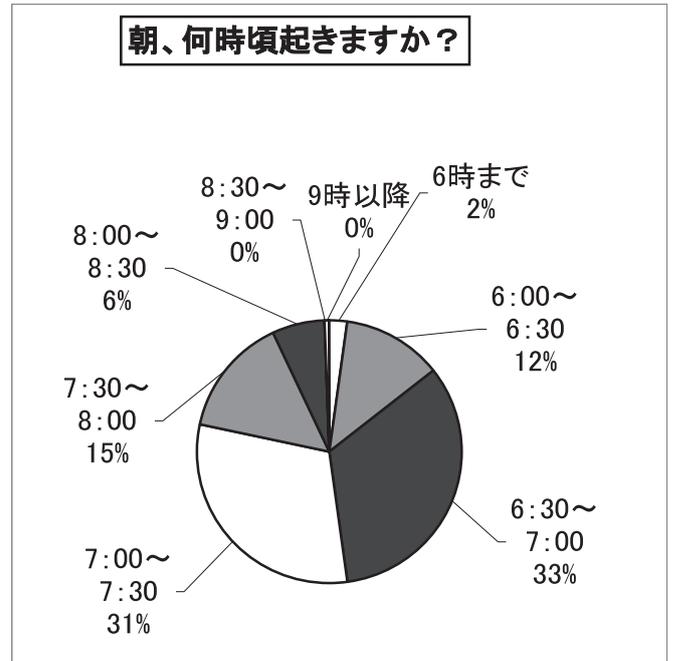
平成22年9月、保育所食育計画を立案・作成するにあたり、家庭での食事状況を把握するため、保護者にアンケートへの協力を求めました。

その結果94%という回収率を得られ、保護者の食育への関心の高さ、そして保育所に対しての期待感の高さを感じることができました。アンケート結果については保護者へも知らせました。(下記参照)

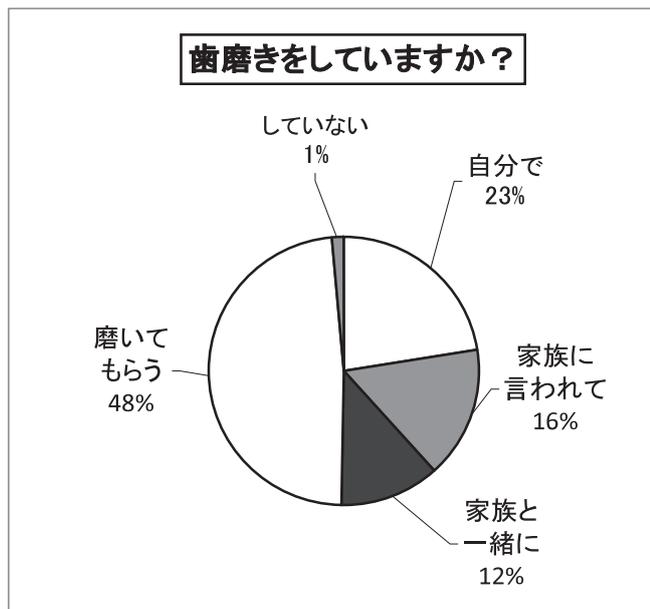
○お子さんの生活習慣について



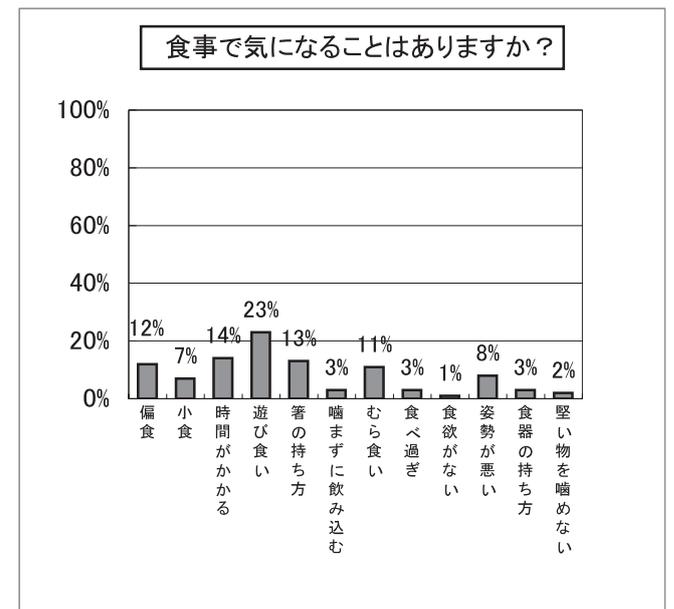
考察 21時以降に就寝する子が79%という結果に驚きを感じたが、理由として「家族のふれあいを大切にしたい」という回答が得られている。



考察 就寝時間の遅さが起床時間を遅らせているものと考えられる。早寝、早起きの習慣が身に着くように啓発していく必要がある。



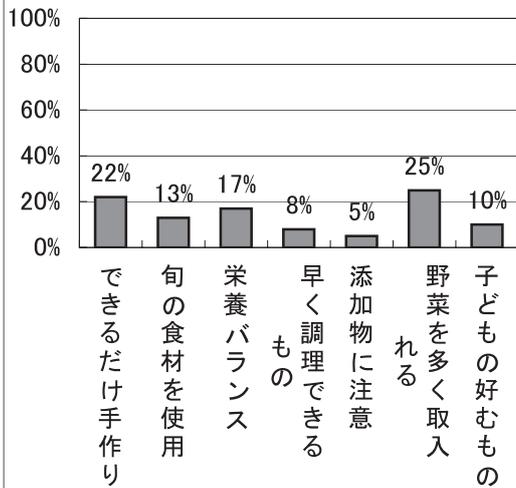
考察 99%の乳幼児が歯磨きをしているという結果は良い傾向である。歯科教室 実施の成果が出てきていると考えられる。



考察 遊び食いにより時間がかかることが考えられる。気になることは家庭と保育所が連携して見直していく必要があると思われる。

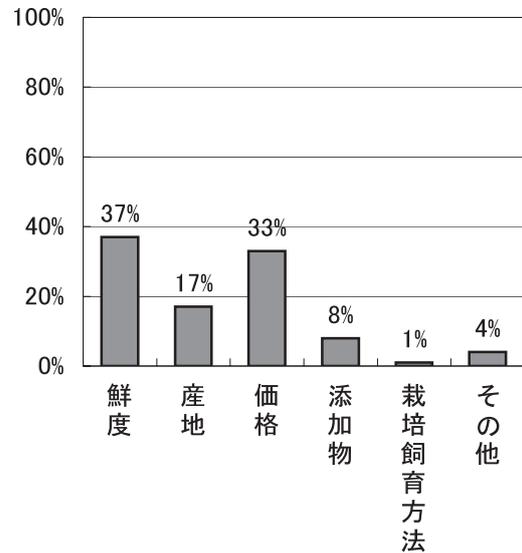
○食の環境について

食事を作る時に心がけていることは何ですか？



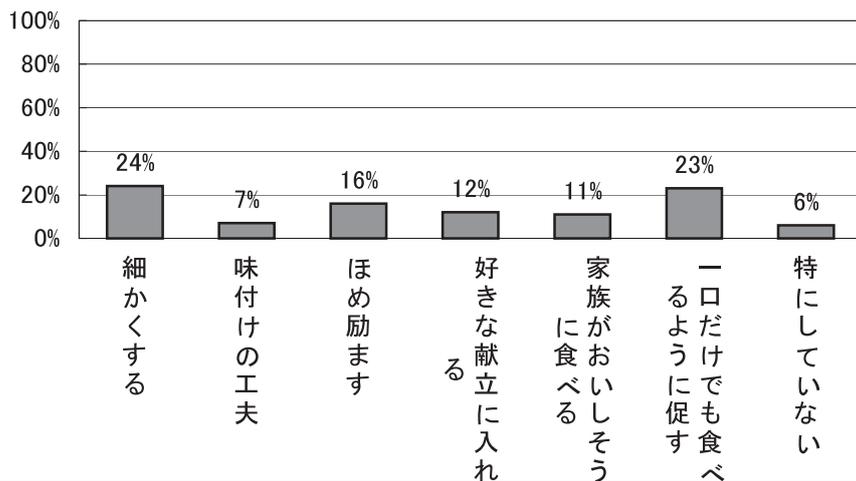
考察 子どもの健康、成長を考えての食事を心がけている家庭が多い、という結果は食の大切さを各家庭が意識しているものと考えられる。

買い物をする時に心がけていることは何ですか？



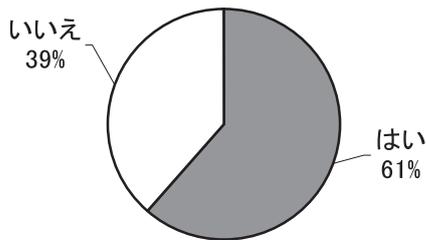
考察 新鮮な食材が豊富な地域であるからこそこの結果であると考えられる。

嫌いな物を食べさせるためにどのような工夫をしていますか？



考察 いろいろな工夫をしながら食べさせてもらっていることは望ましいことである。家庭と保育所が連携しながら好き嫌いをなくすようにしていきたいと考える。

お子さんが保育所に入ってから食べられるようになった食べ物はありますか？



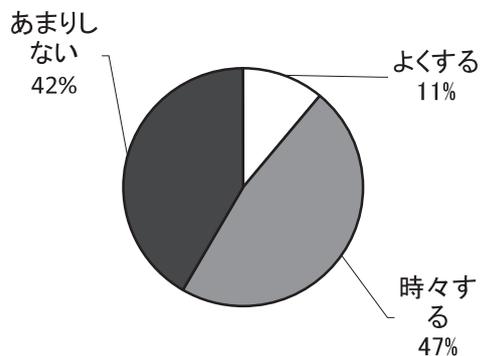
考察

給食により様々な食材を食べる機会がその理由と考えられる。

食べられるようになった食品名

0歳児		1歳児	
牛乳 旬の食材		茹でキャベツ 酢の物 肉類など	
2歳児		3歳児	
トマト	ブロッコリー	トマト	ブロッコリー
きゅうり	キャベツ	きゅうり	ピーマン
ひじき	あらめ	ゴーヤ	肉
牛乳	高野豆腐	ねぎ	牛乳
酢の物	カレー	野菜	魚
		酢の物	海草
		あげ物	麻婆豆腐
4歳児		5歳児	
トマト	ブロッコリー	トマト	もやし
きゅうり	ピーマン	魚	きゅうり
ニンジン	ゴーヤ	ピーマン	ラーメン
肉	牛乳	キャベツ	練り物
野菜の煮物	豆	キノコ類	なす
酢の物	果物	ホウレン草	牛乳
海草	パスタ	ゴーヤ	玉ねぎ
かきあげ			

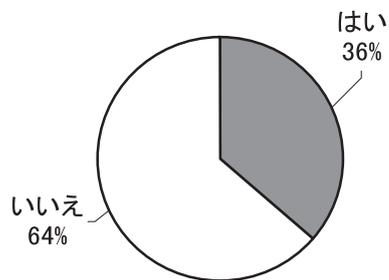
給食献立・給食だよりについて親子、家族で話しをしますか？



考察

話をする家庭が58%と約半数である。献立表・給食だよりを配布する際子どもへの興味づけ等する必要性を感じた。

給食の献立を参考に家庭でも作りますか？



考察

給食献立表と給食だよりを毎月配布していることや展示食の実施等から家庭の関心も高まり作ってみる家庭があるものと思われる。

保護者からの意見・要望

<p style="text-align: center;">0 歳児</p> <p>* 旬の食材を使ったアレンジ料理や、簡単に作れるドレッシングなどをなるべく自分で作りたい。</p>	<p style="text-align: center;">1 歳児</p> <p>* 栄養バランスを考えてくれていて感謝しています。 * 県外の栄養士の親戚が献立表を見て、ここのはしっかり考えてあるねと誉めていました。</p>
<p style="text-align: center;">2 歳児</p> <p>* 乳酸飲料が多いので虫歯が心配です。 * 栄養を考えてくれてありがたいです。</p>	<p style="text-align: center;">3 歳児</p> <p>* 栄養バランスを考えて頂き、温かい給食を毎日頂けることに感謝しています。 * 給食参観があれば子どもの食べる様子が見られてよいと思います。 * 給食の汁物を参考にしています。人気の献立の作り方をのせて欲しい。 * 炊き込みご飯などご飯をアレンジした献立を増やして欲しい。 * 食べる量や大きさを展示して欲しい。 * 噛むことを増やすため、するめなどを多く取り入れて欲しい。</p>
<p style="text-align: center;">4 歳児</p> <p>* 自家製の食材を使うようにしています。 * 献立のレシピが欲しいです。 * 野菜が食べられるようになりました。 * ご飯を炊いて欲しい。 * 添加物の摂取をしないように気を付けています。 * 保育所で、ミニトマト、ピーマン、玉葱じゃが芋、などを育てて、それを給食に使ってくれているのが、とてもありがたいです。是非続けて下さい。</p>	<p style="text-align: center;">5 歳児</p> <p>* 散歩の時にフキを採って下処理して自分で調理したり、野菜を収穫する等いい経験をさせてもらっていると思う。 * 伊勢海老、小女子、海女漁など島の暮らしを見せてもらうのも食育になっていると思います。 * 栄養バランスを考えて頂き、温かい給食を毎日頂けることに感謝しています。 * 展示食があるので、よくわかっていいと思います。 * 給食の彩りがいいと思います。</p>

このアンケート結果をもとに、鳥羽市の地域の特性を取り入れた「保育所食育年間計画」を作成しました。

子どもの体力、運動低下が叫ばれている昨今、健康な体づくりのために、運動、休養、栄養の3つの柱をふまえ、子ども達が生活の中で「食」を学び、「食」を楽しみ、「食」を通して心も体もすくすく育つ、そのような食育の実践と、「生きる力が育つ保育」の充実を目指していきたいと思っています。

三重県食育計画

子どもの発達と保育をとらえる視点			
発達過程	ねらい	内容	配慮事項
①おおむね 6か月未満	<ul style="list-style-type: none"> ○お腹がすき、乳(母乳・ミルク)を飲みたい時、飲みただけゆったりと飲む ○安定した人間関係の中で、乳を吸い、心地よい生活を送る 	<ul style="list-style-type: none"> ○よく遊び、よく眠る ○お腹がすいたら、泣く ○保育士にゆったり抱かれて、乳(母乳・ミルク)を飲む ○授乳してくれる人に関心を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> ○一人一人の子どもの安定した生活のリズムを大切にしながら、心と体の発達を促すよう配慮する ○食欲と人間関係が密接な関係であることを踏まえ、愛情豊かな特定の大人との継続的で応答的な授乳中の関わりが子どもの人間への信頼、愛情の基盤となるよう配慮する ○お腹がすき、泣くことが生きていくことの欲求の表出につながることを踏まえ、食欲を育むよう配慮すること ○一人一人の子どもの発達・発達状態を適切に把握し、家庭との連携を取りながら、個人差に配慮すること
②おおむね 6か月～ 1歳3か月未満	<ul style="list-style-type: none"> ○お腹がすき、乳を吸い、離乳食を喜んで食べ、心地よい生活を味わう ○いろいろな食べ物を見る、触る、味わう経験を通して自分で進んで食べようとする 	<ul style="list-style-type: none"> ○よく遊び、よく眠り、満足するまで乳を吸う ○お腹がすいたら、泣く、または、喃語によって、乳や食べ物を催促する ○いろいろな食べ物に関心を持ち、自分で進んで食べ物を食べて食べようとする ○ゆったりとした雰囲気の中で、食べさせてくれる人に親しみや信頼感を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> ○お腹がすき、乳や食べものを催促することが生きていくことの欲求の表出につながることを踏まえ、いろいろな食べ物に接する機会を持ち、食欲を育むようにする ○子どもの咀嚼や嚥下機能の発達に応じて、食品の種類、量、大きさ、固さなどの調理形態に配慮する ○一人一人の子どもの発達・発達状態を適切に把握し、家庭と連携をとりながら、個人差に配慮する ○食欲と人間関係が密接にあることを踏まえ、愛情豊かな特定の大人との継続的で応答的な授乳及び食事での関わりが子どもの人間への信頼、愛情の基盤となるよう配慮する ○調理形態に気を配り体調不良、食物アレルギー等のある子どもなど一人一人の心身の状態に適切に対応する
③おおむね 1歳3か月～ 2歳未満	<ul style="list-style-type: none"> ○お腹がすき、食事を喜んで食べ、心地よい生活を味わう ○いろいろな食べものを見る、触る、噛んで味わう経験を通して自分で進んで食べようとする 	<ul style="list-style-type: none"> ○よく遊び、よく眠り、食事を楽しむ ○いろいろな食べものに関心を持ち、手づかみ、または、スプーン、フォークなどを使って自分から意欲的にたべようとする ○食事の前後や汚れたときは、顔や手を拭き、きれいになった快さを感じる ○楽しい雰囲気の中で、一緒に食べる人に関心を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもが食べものに興味を持って自ら意欲的に食べようとする姿を受け止め、自立心の芽生えを尊重する ○食事のときには、一緒に噛むまねをして見せたりして、噛むことの大切さが身につくように配慮する。また、少しずつ色々なものに接することができるよう配慮すること ○子どもと一緒に食べたい人を見つけ、選ぶようする姿を受け止め、人への関心の広がりに配慮する ○清潔な習慣については、子どもの食べる意欲を損なわぬよう、一人一人の状態に応じて関わる ○調理形態に気を配り体調不良、食物アレルギー等のある子どもなど一人一人の心身の状態に適切に対応する
④おおむね2歳	<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな種類の食べ物や料理を味わう ○食生活に必要な基本的な習慣や態度に関心を持つ ○保育士を仲立ちとして、友達とともに食事を進め、一緒に食べる楽しさを味わう 	<ul style="list-style-type: none"> ○よく遊び、よく眠り、食事を楽しむ ○食べものに関心を持ち、自分で進んでスプーン、フォーク、箸などを使って食べようとする ○保育士の手助けによって、うがい、手洗いなど、身の回りを清潔にし、食生活に必要な活動を自分でする ○楽しい雰囲気の中で、一緒に食べる人、調理をする人に関心を持つ ○色々な食べものを進んで食べる ○身近な動植物を始め、自然現象をよく見たり、触れたりする ○保育士を仲立ちとして、友だちと共に食事を進めることの喜びを味わう 	<ul style="list-style-type: none"> ○食べものに興味を持ち自主的に食べようとする姿を尊重する。また、いろいろな食べ物に接することができるようにする ○自然や身近な事物などへの触れ合いにおいては、安全や衛生面に留意する。また、保育士がまず親しみや愛情を持って関わるようにして、子どもが自らしてみようと思える気持ちを大切に ○子どもと一緒に食べたい人を見つけ、選ぶようする姿を受け止め、人への関心の広がりに配慮すること。また、子ども同士のいざこざも多くなるので、保育士はお互いの気持ちを受容し、他の子どものかかわり方を知らせていく。 ○友達や大人とテーブルを囲んで、食事をすすめる雰囲気作りで配慮すること。また、楽しい食事のすずめ方気づかせていく ○保育者への啓発を行う
⑤おおむね3歳	<ul style="list-style-type: none"> ○できるだけ多くの種類の食べ物や料理を味わう ○自分で食事ができること、身近な人と一緒に食べる楽しさを味わう ○食事に必要な基本的な週間や態度を身につける ○調理に関心を持ち、簡単な調理を楽しむ ○身近な食材を使って、食べものの味の違いを知る ○大人と一緒に食事をし、会話を通して色々なことを学ぶ ○食べ物は口から食べて消化され、便となって体外へ排泄されることに気づく 	<ul style="list-style-type: none"> ○好きな食べ物をおいしく食べる ○様々な食べ物を進んで食べる ○健康な生活リズムを身につける ○身近な大人や友達とともに、食事をすすめる喜びを味わう ○同じ料理を食べたり、分け合って食事をすることを喜ぶ ○身近な動植物に関心を持つ ○食習慣の基本を身につける ○良く噛んでしっかりと飲み込むようにする ○食べ物と便との関係に興味と関心をもつ 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもが、遊びや睡眠、排泄などの諸活動をバランスよく展開し、食欲を育むよう配慮する ○身近な動植物、また飼育・栽培物の中から保健・安全面に留意しつつ、食材につながるものを選び、積極的に食す他見を通して、自然と食事のつながりに気づくように配慮する ○食前、食後のあいさつをし、食前には手洗いを ○食具が上手に使え、よく噛んで食べるなどの基礎的な食習慣を身につけるように働きかける ○保育者への啓発を行う
⑥おおむね4歳	<ul style="list-style-type: none"> ○健康、安全など食生活に必要な基本的な習慣や態度を身につける ○様々な人々との会食を通して愛情や信頼感を持つ ○栽培、飼育、食事などを通して、身近な存在に親しみを持ち、全てのいのちを大切にすることを学ぶ ○調理に積極的に関わりをもつ ○様々な伝統的な日本特有の食事を体験する 	<ul style="list-style-type: none"> ○慣れない食べ物や嫌いな食べ物にも挑戦する ○うがい、手洗いなど身の回りを清潔にし、食生活に必要な活動を自分でする ○食生活に必要なことを、友達とともに協力して進んで関わりを深め、思いやりの気持ちをもつ ○自分たちで野菜を育て、食材にも旬があることを知り季節感を感じる ○食事の際には、安全に気をつけて行動する ○食べものを通して日本の伝統と食文化に関心を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> ○食習慣の形成に当たっては、子どもの自立心を育て、子どもが他の子どもと関わりながら、主体的な活動を展開する中で身につくよう配慮する ○身近な動植物に関わりあう共感し合い、いのちを育む自然に感謝の気持ちももてるよう、自ら関わりあう意欲を大切に ○調理する中で、様々な料理を通して素材に目をむけ、関心が養われるようにする ○年間行事や季節と関連させて、日本の伝統と食文化を伝えるように配慮する ○大人との信頼関係に支えられて、自分自身の生活を確立していくことが基盤となることを考慮する ○保護者への啓発を行う
⑦おおむね5歳	<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな料理に出会い、発見を楽しんだり、考えたりし、様々な文化に気づく ○健康と食べものの関係に気づく ○食習慣、マナーを身につける ○自然の恵みと働くことの大切さを知り、感謝の気持ちを持って食事を味わう ○食事の準備から後片付けまでの食事作りに自らかわり、味や盛り付けなどをかんがえたり、それを生活に取り入れようとする ○加工食品の原材料に興味と関心を持つ ○食べものはそれぞれの食品によって、味や香りに特徴があることを知る 	<ul style="list-style-type: none"> ○健康と食べ物の関係について関心を持つ ○肉、魚、卵、牛乳、豆、小麦粉など身近な動植物から色々な加工食品ができることを知り、自然の恵みに感謝の気持ちを持つ ○調理をしている人や地域の方々などに関心を持ち、感謝の気持ちを持つ ○挨拶や姿勢など、気持ちよく食事をすすめるためのマナーを身につける ○伝統的な食品加工に出会い、味わう ○野菜の収穫時期に気づき、自分たちで育てた野菜を食べる ○食材の色、形、香りなどに興味をもつ ○調理器具の使い方を学び、安全で衛生的な使用方法を身につける 	<ul style="list-style-type: none"> ○健康と食べ物の関係について関心を促すに当たっては、子どもの興味・関心を踏まえ、全職員が連携のもと、子どもの発達に応じた内容に配慮する ○様々な文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮する ○安全・衛生面に配慮しながら、扱いやすい食材、調理器具などを日常的に用意する ○食品や料理を通して五感が発達するよう創意工夫をする ○保育者への啓発を行う
⑧おおむね6歳	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の体に必要な食品の種類や働きに気づき、栄養バランスを考慮した食事をとろうとする ○地域で培われた食文化を体験し、郷土への関心を持つ ○身近な自然に関わり、世話をすることで、料理との関係を考え、食材に対する感覚を豊かにする ○食事にふさわしい環境を考えて、ゆとりある落ち着いた雰囲気での食事をすすめる ○色々な加工食品を見たり触れたりし、調理の方法や料理を知る ○生産地から自分が食べるまでの過程を知り働く人に感謝する 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の健康に関心を持ち、必要な食品を進んでとろうとする ○食品の種類によって体の中での働きに違いがあることを知り、健康に気をつけて食品を選ぶ ○色々な料理に出会い、発見を楽しんだり、考えたりし、様々な文化に気づく ○栽培を通し、食材の成長を喜び、調理をすることで生かされることを学ぶ ○調理をしている人や地域のお世話になっている人などに感謝の気持ちを持つ ○外国の人々など、自分と異なる食文化に興味や関心を持つ ○身近な大人や友達と協力し合って、調理することを楽しむ ○おいしそうに盛り付けを考える 	<ul style="list-style-type: none"> ○食べものは過剰に食べたり、欠乏することにより、心身の健康を害することに気づくよう配慮する ○子どもの食生活と関係の深い人々と触れ合い、自分の感情や意志を表現しながら共に食を楽しむ ○高齢者をはじめ、地域、外国の人々などと親しみを持ち、人と関わることの楽しさや人の役に立つ喜びを味わうことができるようにする ○買い物を通して食生活の関心を高めるよう家庭への協力を図る ○保育者への啓発を行う
備考			

鳥羽市保育所食育計画

○食をめぐる子どもの姿と現状

家庭と保育所が食に関する意識をもって関わることで、子どもたちの食材や給食への関心が高まってきている。

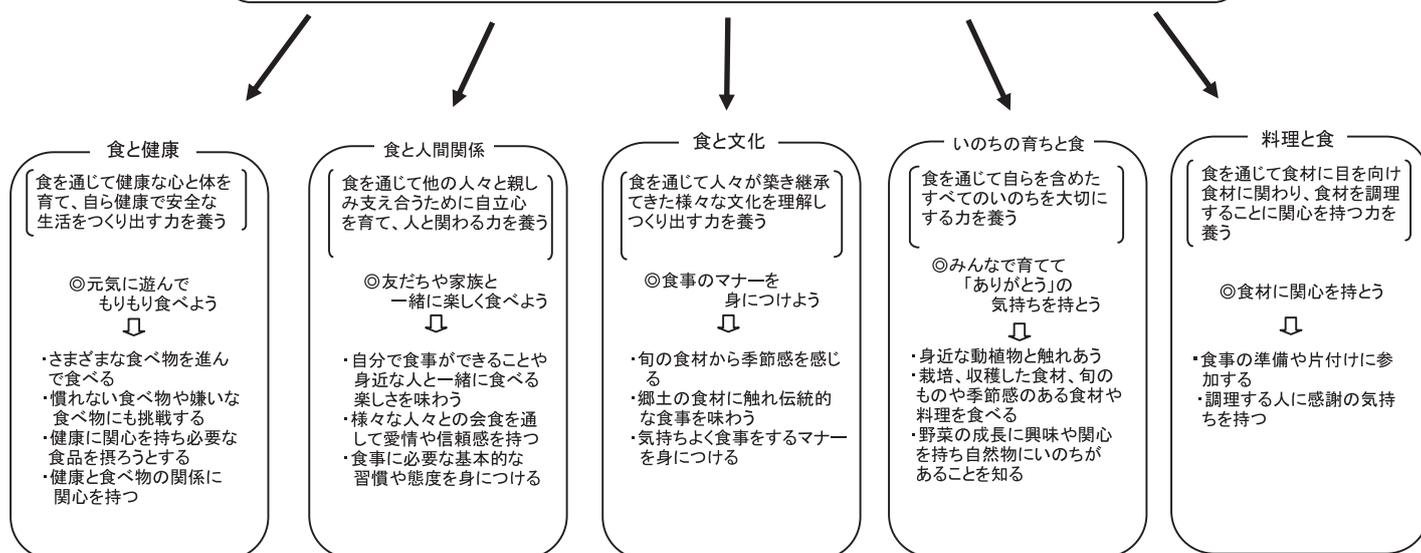
○目指す子ども像

- ・お腹がすくリズムの持てる子ども
- ・食事づくりや、準備に関わる子ども
- ・食べたいもの好きなものが増える子ども
- ・食べものを話題にする子ども
- ・一緒に食べたい人がいる子ども
- ・鳥羽市でとれる食材に興味、関心を持てる子ども

鳥羽市食育目標

楽しく食べる体験を深め「食を営む力」の基礎を培う

- ・様々な人々と一緒に食べる楽しさを味わい、愛情と思いやりを育てる (心情)
- ・自分の体に必要な食品の種類や働きを知り食事バランスを考える (意欲)
- ・健康、安全など食生活に必要な基本的な習慣や態度を身につける (態度)



0～1歳児

- ・お腹がすき、離乳食を喜んで食べ心地よい生活を味わう
- ・いろいろな食べ物を見る、触る、味わうなど経験を通して、自分で進んで食べようとする
- ・一緒に食べる人に関心を持つ

2歳児

- ・いろいろな種類の食べ物や料理を味わう
- ・食生活に必要なマナーを身につける
- ・身近な人と一緒に食べる楽しさを味わう

3歳児

- ・給食に慣れて、楽しく食べる
- ・慣れない食べ物や嫌いな食べ物にも挑戦する
- ・食事の正しいマナーを身につける

発達に応じた指導目標

4歳児

- ・健康な生活リズムを身につける
- ・自分の身体に必要な食品の種類や働きに気づく
- ・食事の正しいマナーを身につける
- ・赤、黄、緑の食品の役割を知る

5歳児

- ・栽培、飼育などを通じて食べ物の大切さを知る
- ・友達や他の人と楽しく食事ができるようになる
- ・地域の産物を活かした料理を味わい、郷土への親しみを持つ
- ・食事の正しいマナーを身につける
- ・食材に興味を持ち調理することに関心を持つ

食育の年間計画（0、1歳児）

保育所名

年(月)齢	目標	食育の年間計画				連携等	
		子どもの姿	ねらい	内容	配慮事項		
0、1歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・お腹がすぎ、離乳食を喜んで食べ、心地よい生活を味わう ・いろいろな食べ物を見る、触る、味わうなどの経験を通して自分で食べようとする ・一緒に食べる人に関心を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> ・授乳してくれる人に関心を持つ ・乳以外の味やスプーンから飲むことに慣れる ・食べることに興味を示し始め、目の前にある食べ物や食具に手をのばしてつかもうとする 	<ul style="list-style-type: none"> ・口を閉じて飲み込めるようになる 	<ul style="list-style-type: none"> ・下唇をスプーンで刺激し、出てきた舌先に乗せるようにしていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事内容の配慮 ・ドロドロ状の離乳食にし、舌ざわりの良いように調理してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・食べ方やすい量を口に運んでやるようにする ・ほほえみかけたり、優しく言葉をかけながら食べさせる 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭での授乳状況や離乳食のすすみ具合、健康状態、体質などについて具体的に知らせてもらう ・その日のメニューや食べた量、その時の様子、排便の状態等を話したり連絡ノートを使って知らせ合い家庭と保育所が同じように対応できるようにする
<ul style="list-style-type: none"> ・おおむね5ヶ月～6ヶ月（ゴックン期） 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で手づかみで食べようとすることもある 	<ul style="list-style-type: none"> ・舌で潰して食べるようになる ・口に入れて噛んで潰し、飲み込むことを覚えさせる 	<ul style="list-style-type: none"> ・粒が残る程度の状態でスプーンで簡単に潰せる硬さ程度にする（絹ごし豆腐程度） 	<ul style="list-style-type: none"> ・抱かれたいり食卓椅子に座って食べるようにする ・嫌がって口から出してくることもあるが、無理強いしないようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・手づかみ食べを認め食材の感触を体感させてやるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・手づかみ食べの姿をいけない事と捉えず発達過程の中で必要な事として捉えてもらうように知らせ理解してもらう 	
<ul style="list-style-type: none"> ・おおむね7ヶ月～8ヶ月（モグモグ期） 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で手づかみで食べようとすることもある 	<ul style="list-style-type: none"> ・歯ぐきですり潰して食べるようになる ・手を添えてコップで飲むことに慣れるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・一応形はあるが、指で潰せる硬さにする（バナナ程度） ・さまざまな味や舌ざわりを経験させる 	<ul style="list-style-type: none"> ・手づかみ食べを認め食材の感触を体感させてやるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・手づかみ食べの姿をいけない事と捉えず発達過程の中で必要な事として捉えてもらうように知らせ理解してもらう 		
<ul style="list-style-type: none"> ・おおむね9ヶ月～11ヶ月（カミカミ期） 							

年(月)齢	子どもの姿	ねらい	内容	配慮内容の配慮	食べ方・マナーの配慮	連携等
0、1歳児 おおむね 12ヶ月～ 18ヶ月	<ul style="list-style-type: none"> こぼすことも多いが、手づかみ、またはスプーンなどの食具を使って食べようとする 食事中、眠くなったり、食べ歩くことがある 食べ物をお口にためてしまったり、はきだしてしまうことがある 人見知りが激しくなる 	<ul style="list-style-type: none"> 口が自由に動かせるようになり、奥歯で噛めるようになる 楽しい雰囲気の中で自分で食事をしようとし、好きな食べ物が増える 決まった時間に食事をし、生活リズムを整える 	<ul style="list-style-type: none"> よく遊びよく眠り食事を楽しむ ゆったりとした雰囲気の中で、食べさせてくれる人に関心を持つ いろいろな味や食材に慣れ、よく噛んで食べる 	<ul style="list-style-type: none"> 薄味にし、栄養のバランスをとる 一人ひとりの生活リズムを大切にすること 個々の健康状態、嚥下機能の発達に合わせ、量の加減、大きさを固さなどを配慮する 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な咀嚼や運動の完成を目指し、よく噛むことを知らせるようにする 自分で食べようとすると、大人がおおいしく楽しそうに食べる様子を見せる 口や手を拭いてもらうなどしてさっぱりとしたことを感じさせる 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭との連携
おおむね 19ヶ月～ 24ヶ月	<ul style="list-style-type: none"> 一人で飲んだり、食べたりできるようになる スプーン使いが上手になる 食事の挨拶は片言や身振りしようとする 食前の手洗いを保育士と一緒にする 	<ul style="list-style-type: none"> 決まった時間に食事をし、生活リズムを整える 一人食べが確立する 「いただきます」「ごちそうさま」の挨拶をする 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな食べ物に関心を持ち、スプーンなどを使って進んで食べようとする 楽しい雰囲気の中で一緒に食べる人に関心を持つ 食事の前後や汚れた時は、顔や手を拭ききれいな心地よさを感じる 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな食べ物に接することができるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> 清潔を保つ習慣や挨拶については子どもがわからないよう一人ひとりの状態に応じて関わる 食べることに興味が持てるようことばかけや雰囲気づくりをする 自分で食べられたら褒めたり認めたりする 食事のときには、噛むことの大切さが身につくように一緒に噛む真似をして見せたりする 	<ul style="list-style-type: none"> 保育所での生活リズムや子どもの様子を伝える 子どもの心身の成長を具体的に伝えて、喜び合うことで子育てに自信が持てるようにする

食育の年間計画（2歳児）

保育所名

年(月)齢	目標	配慮事項				連携等	
		子どもの姿	ねらい	内容	食事内容の配慮		食べ方・マナーの配慮
2歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな種類の食べ物や、料理を味わう ・食生活に必要なマナーを身につける ・身近な人と一緒に食べる楽しさを味わう 	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな食べ物だけ食べる 	<ul style="list-style-type: none"> ・給食に慣れる 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな食べ物に興味をもつ ・よく遊び、よく眠り、食事を楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の食べる量を把握し徐々に食事に慣れ、食べる意欲が持てるようになる 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士も一緒に両手を合わせて挨拶することを知らせていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭との連携
1期 (4～5月)	<ul style="list-style-type: none"> ・手をつけなかつたものも少しずつ食べてみようとする 	<ul style="list-style-type: none"> ・食べ物に関心をもち自分で進んで食べようとする ・いろいろな種類の食べ物や料理を味わう 	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜づくりなど身近な動植物をよく見たり触れたりする ・食べ物に関心をもち自分で進んでスプーン、フォーク、箸などを使って食べようとする 	<ul style="list-style-type: none"> ・手遊びや絵本を通して食べ物に興味を持たせるなどして楽しい雰囲気の中で進んでいく ・保育所でとれた野菜を取り入れる 	<ul style="list-style-type: none"> ・食べ物に興味を持ち積極的に食べようとする ・手を洗うの仕方を見せながら保育士も一緒にいきいきと楽しんでいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・旬の野菜を献立の中へ取り入れてもらうようにする 	
2期 (6～8月)	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活の簡単なマナーがあることに気が付いてきている 	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活に必要な基本的な習慣や態度に関心をもち 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士の手助けによって身の回りを清潔にし食生活に必要な簡単なことを自分で進んでいく ・いろいろな食べ物を進んで食べる 	<ul style="list-style-type: none"> ・食べる意欲を損なわないようにさりげなく言葉がけや介助をしていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士も一緒に楽しく食事しながらマナーを知らせていく(スプーン、フォーク、箸の持ち方、正しい姿勢、口を拭く) 	<ul style="list-style-type: none"> ・清潔の大切を知らせ家庭でも習慣をつけていってもらう 	
3期 (9～12月)	<ul style="list-style-type: none"> ・一緒に食べたい人を選び食事の会話が発達する 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士を仲立ちとして友だちと共に食事を進め一緒に食べる楽しさを味わう 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士を仲立ちとして友だちと共に食事を進めるときの喜びを味わう ・旬の時期(わかめのりなど)の食材を取り入れる 	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちや保育士とテーブルを囲んで食事を進める雰囲気づくりに配慮する ・旬の時期(わかめのりなど)の食材を取り入れる 	<ul style="list-style-type: none"> ・偏った食べ方をしないよう言葉かけたり、上手に食べている子を認めながら交互に食べることを意識づけていくようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事中はテレビを消して食事を楽しむ、家族だんらんの時間にしてもらえるよう働きかける 	
4期 (1～3月)							

食育の年間計画（3歳児）

保育所名

年(月)齢	目標	配慮事項				連携等	
		内容	食事内容の配慮	食べ方・マナーの配慮	家庭との連携	地域との連携	
3歳児	<ul style="list-style-type: none"> 給食に慣れて楽しく食べる 慣れない食べ物や嫌いな食べ物にも挑戦する 食事の正しいマナーを身につける 	<ul style="list-style-type: none"> 好きな食べ物を選んで食べる 	<ul style="list-style-type: none"> 保育士や友だちがおおいしく食べる様子を気づかせる 	<ul style="list-style-type: none"> 食事の準備や片付けに興味を持ち自分でしようとする気持ちを持たせる 	<ul style="list-style-type: none"> 食事の様子や好き嫌いをあらかじめ聞いておく 	<ul style="list-style-type: none"> 散歩に出かけ、栽培物を見たり触れたりする 	
1期 (4～5月)	<ul style="list-style-type: none"> 好きな食べ物喜んで食べる 	<ul style="list-style-type: none"> 好きな食べ物を進んで食べる 	<ul style="list-style-type: none"> 夏野菜などの育ちを見たり触れたり世話をし収穫したもの調理する 食品や料理の名前にも関心を持つように関わっていく 	<ul style="list-style-type: none"> 食中毒に注意し、ただならぬと長くなりすぎないで一定時間内に食べ終わられるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな食材を取り入れ季節感を大事にした食事にしてもらう 	<ul style="list-style-type: none"> 散歩に出かけ、地域のひとふれあう 	
2期 (6～8月)	<ul style="list-style-type: none"> 苦手な食べ物も食べようとす気持ちが出てきている 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な食べ物を進んで食べる 身近な動植物に関心を持つ 保育士や友だちと食事をすることを楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> 遊びや睡眠、排泄など子どもの生活リズムを考慮し、食欲を育むように配慮する 	<ul style="list-style-type: none"> 正しい食事の仕方伝え、箸の持ち方や姿勢、挨拶、よく噛んで食べるなどの食習慣が身につくよう働きかける 	<ul style="list-style-type: none"> 「早寝 早起き 朝ごはん」の大切さを知らせる 食事の仕方について協力してもらって食べる、最後まできれいに食べる 	<ul style="list-style-type: none"> 調理や食材に関係のある人々と関わっていく 	
3期 (9～12月)	<ul style="list-style-type: none"> 食事のマナーが少しずつ身についているが個人差がある 	<ul style="list-style-type: none"> 食事に必要な基本的な習慣や態度を身につける 	<ul style="list-style-type: none"> 骨や歯が丈夫になる、風邪をひきにくくなるなど、身体的な話をし、食べ物と体との関係に興味を持たせていく 	<ul style="list-style-type: none"> 大きいことへの期待を高め進んでマナーが身につくようにする 	<ul style="list-style-type: none"> 保育所の食に関する取り組みを伝え家庭での食育の関心を高めていっていただく 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の食材や旬の食材を給食に取り入れる 	
4期 (1～3月)	<ul style="list-style-type: none"> 食べ物に興味や関心を持ち、友だちと会話をしながら楽しく食べている 	<ul style="list-style-type: none"> 大人と一緒に食事を通していろいろなことを学ぶ 食べ物は口から食べて消化され便となって体外へ排出されることに気づく 	<ul style="list-style-type: none"> 食べ物と便との関係に興味と関心を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> 大きいことへの期待を高め進んでマナーが身につくようにする 	<ul style="list-style-type: none"> 保育所の食に関する取り組みを伝え家庭での食育の関心を高めていっていただく 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の食材や旬の食材を給食に取り入れる 	

食育の年間計画（4歳児）

保育所名

年(月)齢	目標	配慮事項		連携等		
		食事内容の配慮	食べ方・マナーの配慮	家庭との連携	地域との連携	
4歳児	<ul style="list-style-type: none"> 健康な生活リズムを身につける 食事の正しいマナーを身につける 	<ul style="list-style-type: none"> うがい、手洗いなど身の回りを清潔にし食生活に必要な準備を自分でする 新しい担任や友だちと楽しく食べ、嫌いな食べ物にも挑戦する 	<ul style="list-style-type: none"> 箸の使い方など、食事の仕方が分かるようにする 偏った食べ方をしない、最後まできれいに食べる、しっかりと噛むことを知らせていく 	<ul style="list-style-type: none"> 家族と一緒に食事をする大切さを知らせる うがい、手洗いなどの習慣をつけてもらうようにする 	<ul style="list-style-type: none"> 園外保育に行く(竹の子掘り、浜あそび、茶摘み、田んぼへ行くなど) 	
1期 (4～5月)	<ul style="list-style-type: none"> 友だちや保育士と楽しく食べる 好き嫌いはあるがさまざまな食べ物を食べてみようとする 	<ul style="list-style-type: none"> 健康、安全など食生活に必要な基本的な習慣や態度を身につける さまざまな人々と食を通して愛情や信頼感を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> 苦手な食べ物も少しずつ食べてみるように声をかける 	<ul style="list-style-type: none"> 食後に歯を磨く習慣をつける 食中毒について伝え、気を付けてもらう 	<ul style="list-style-type: none"> 歯科教室に参加する(菌みがき指導、栄養、咀しゃく、おやつについて) 	
2期 (6～8月)	<ul style="list-style-type: none"> 飼育、栽培に興味を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちで野菜を育て、食材にも旬があることを知り季節感を感じる 	<ul style="list-style-type: none"> 育てた野菜を食べる喜びや食べ物を大切にすることが出来るようになる 	<ul style="list-style-type: none"> 収穫の喜びや恵みに感謝して食べるようにする(いも掘り、焼き芋など) 姿勢よく椅子に座り、食器を持って食べるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> 素材に目を向け関心が持てるようになる 	<ul style="list-style-type: none"> 調理に積極的に関わりを持つ 食習慣、マナーを身につける
3期 (9～12月)	<ul style="list-style-type: none"> 収穫の喜びや恵みに感謝する 食事の姿勢が崩れたり、ながら食になることがある 	<ul style="list-style-type: none"> 食生活に必要なことを友だちとともに協力して進めて関わりを深め、思いやりの気持ちを持つ 挨拶や姿勢など、気持ちよく食事をするためのマナーを身につける 	<ul style="list-style-type: none"> 年間行事や季節と関連させて、日本の伝統と食文化を伝える 	<ul style="list-style-type: none"> 伝統食の由来を知り、喜んで食べる(おせち料理、雑煮、七草がゆ、節分、ひな祭りなど) 	<ul style="list-style-type: none"> 赤、黄、緑の食品群や健康と食べ物との関係について知らせる 	<ul style="list-style-type: none"> 調理をしている人や地域の方々に関心を持ち、感謝の気持ちを持つ
4期 (1～3月)	<ul style="list-style-type: none"> 季節の食べ物と体の関係に興味を持ち、意欲的に食事をする 	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな伝統的な食事を体験する 健康と食べ物の関係に気づき苦しい物を食べようとする 	<ul style="list-style-type: none"> 赤、黄、緑の食品群や健康と食べ物との関係について知らせる 	<ul style="list-style-type: none"> 赤、黄、緑の食品群や健康と食べ物との関係について知らせる 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の伝統文化を知る(もちつきなど) 	

食育の年間計画 (5歳児)

保育所名

年(月)齢	目標		配慮事項		連携等		
	子どもの姿	ねらい	内容	食事内容の配慮	食べ方・マナーの配慮	家庭との連携	地域との連携
5歳児							
1期 (4～5月)	<ul style="list-style-type: none"> ・栽培、飼育などを通じて食べ物の大切さを知る ・地域の産物を活かした料理を味わい、郷土への親しみを持つ ・食材に興味を持ち、調理することに関心を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康と食べ物の関係に気づく ・食習慣・マナーを身につける 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康と食べ物との関係について関心を持つ ・挨拶や姿勢など気持ちよく食事をするためのマナーを身につける 	<ul style="list-style-type: none"> ・赤、黄、緑の食品群について知らせ嫌いな食べ物でも食べようとする気持ちが持てるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・偏った食べ方をしない、しっかりと噛む、最後まできれいに食べることを意識させていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族と一緒に食事をする楽しさを知らせる 	<ul style="list-style-type: none"> ・園外保育に行く ・地域の行事に関わる (たけのこ掘り、茶摘み、浜遊び、田んぼへ行くなど)
2期 (6～8月)	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜などを育てたり、栽培を手伝う ・収穫を喜び、調理に関心を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の恵みと働くことの大切さを知り、感謝の気持ちを持って食事を味わう 	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜の収穫時期に気づき、自分たちで育てた野菜を食べる ・調理器具の安全で衛生的な使用法を身につける ・収穫した夏野菜でクッキングする 	<ul style="list-style-type: none"> ・旬で新鮮な食材がおいしいことを体験できるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・一定時間内に食事をし、その必要性を知らせる (栄養面、衛生面) 	<ul style="list-style-type: none"> ・梅雨時の衛生面や手洗い、菌みがきの大切さを知らせてもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科教室に参加する ・夏野菜の世話をす ・芋苗植えをする
3期 (9～12月)	<ul style="list-style-type: none"> ・食べ物ができるとの過程に興味を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の準備から後片付けまでの食事に関わり、味や盛り付けなどを考えたり、生活に取り入れる ・生産地から自分が食べるまでの過程を知り働く人に感謝する 	<ul style="list-style-type: none"> ・調理をしている人や地域の方々などに関心を持ち、感謝する ・自分たちが収穫した物を調理することで、食べ物の大切さを知り、自らのいろいろな食材を食べようとする 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の準備、後片付け等、食事に積極的に関わられるよう配慮する 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶や行儀、マナーを守ることが楽しく食事をするために必要だということに気づかせる 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏の疲れが出やすい時期なので、生活リズムを整えてもらう (早寝、早起き、朝ごはんの奨励) 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間行事や季節と関連させて地域と関わっていく (漁師、かき養殖、のり養殖、芋掘りなど)
4期 (1～3月)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の食文化に関心を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で培われた食文化を体験し、郷土への関心を持つ ・加工食品の原材料に興味と関心を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な動植物からいろいろな加工食品ができることを知り、自然の恵みに感謝の気持ちを持つ 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域特有の料理に関心を持ち、その由来や実際に食べることで郷土への親しみが持てるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事が楽しくなるような雰囲気づくりをし、年齢を問わずみんなで食べる機会を作っていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の確立に向けて見直してもらう (挨拶や姿勢、箸の持ち方、手伝いなど) 	<ul style="list-style-type: none"> ・おせち料理や七草がゆの由来を教えようとする ・節分、ひなまつりの行事食について知る

鳥羽市給食年間実施計画

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
行事	花まつり	子どもの日	虫歯予防の日	七夕	盆	防災の日	収穫祭	七五三	冬至	正月	節分	ひな祭り
		八十八夜	天王祭	終戦記念日	十五夜	彼岸	彼岸	勤労感謝の日	クリスマス	七草	退所祝い	
		アスパラガス	ひじき	トマト	なす	鮭	さつまいも	チンゲン菜	大根	鏡開き	彼岸	
旬の食材	たけのこ	さやえんどう	さば	きゅうり	ピーマン	さんま	里芋	にんじん	ごぼう	ブロッコリー	ほうれん草	菜花
	あさり	そら豆	じゃがいも	メロン	えだまめ	さわら	きのこ	りんご	れんこん	小松菜	わかめ(養殖)	キャベツ
		かつお	たまねぎ	スイカ	ゴーヤ	新米	柿	みかん	レタス	あおさ	のり	パセリ
				オクラ	かぼちゃ	なし			じゃこ	長いも	じゃこ	いちご
				とうもろこし	あらめ					かぶ		
行事例(食事)	よもぎ団子	子どもの日お楽しみ給食	カミカミサラダ(虫歯予防の日)	七夕お楽しみ給食	盆汁(盆)	お月見団子(十五夜)	炊き込みごはん	赤飯風ごはん(七五三)	かぼちや料理(冬至)	おせち料理(正月)	大豆と小魚のごまからめ(節分)	ちらし寿司(ひな祭り)
	たけのこごはん	お楽しみ給食	あじさいゼリー	すいとん汁(総戦記念日)	おはぎ(彼岸)	おはぎ(彼岸)	焼き芋・ふかし芋	チンゲン菜スープ	クリスマスお楽しみ給食	雑煮(正月)	いわし丸干し(節分)	ひなあられ(ひな祭り)
	いちごの練乳がけ	でんでん虫ロール	ひじきの煮物	トマトサラダ	夏野菜カレー	防災メニュー(おやつに乾パンなど)	きのこシチュー	人参のポタージュ	おでん	七草がゆ(七草)	のり巻き(節分)	ハイキング(お別れ会)
	あさりの味噌汁	さやえんどうの卵とじ	ひじきの煮物	きゅうりステイック	サマースパゲティ	秋鮭のムニエル		りんごヨーグルト蒸しパン	豚汁	ぜんざい(鏡開き)	手作りふりかけ(じゃこ使用)	ぼた餅(お別れ会)
										あおさの味噌汁	ポパイサラダ	(彼岸)
体験活動(例)	花見	夏野菜植え	じゃがいも収穫	夏野菜収穫	夏野菜収穫	冬野菜種まき	芋ほり・焼き芋	芋クッキング	クリスマス会	七草つみ	豆まき	ひな祭り会
	ひじきとり	いばらもちづくり	たまねぎ収穫	たまねぎ皮むき	収穫した野菜で漬物づくり	栗ひろい		牡蠣工場見学	もちつき	のり工場見学	わかめ切り	お別れ会
	あさりとり	お茶摘み・新茶づくり	さつまいも苗植え	天草ひろい	どうもろこし皮むき							よもぎつみ
	たけのこ堀り	さやえんどう収穫・すじとり	磯ものとり	稚魚放流	ゴーヤクッキング							
		そら豆	海女さんと交流									
家庭へ	保育所給食について	収穫・さやとり	菌の健康・咀嚼	水分補給	夏の食事	朝ごはんの大切さ	魚やお米に親しむ	おやつのおやつの役割・食べ方について	冬の防寒予防	食の安全	日本の食事を身近そう	食べ物と健康の関わり
	食育について	三色分け・栄養素の働き	食中毒予防	水分補給	夏野菜に頼しむ	早寝・早起き	食事のマナー	食事作りへの参加	暑がけ悪い時の食事	感性を育てる食事	地産地消	食生活について
児童へ	給食に慣れる	三色分け	菌の健康・咀嚼	水分補給・ジュース	夏野菜に頼しむ	朝ごはんの大切さ	秋の味覚に親しむ	おやつのおやつの役割・食べ方について	暑がけ悪い時の食事	地域の食文化	地産地消	食べ物と健康の関わり
	食事のあいさつ	楽しく食べる	手洗い・衛生	水分補給	夏野菜に頼しむ	早寝・早起き	箸の持ち方	食事作りへの参加	食生活の交流	食生活の姿勢	地産地消	食生活について
	食べ慣れているメニューを中心に、盛りつけ量など、無理なく食べられるよう個人に合わせて必要な配慮をする		膾炙されたえのある料理(おやつ)を取り入れたり、切り方などを工夫し、よく噛んで食べるよう促す			台風など災害の多い時期のため、食料の納入困難な場合、調整をおこなう			汁物など、体が温まるメニューを取り入れる			
留意事項			牛乳：以上児150ml・未満児120mlに									
			気温・湿度が高くなるので、衛生面注意									
			子どもの年齢、性別、栄養状態等に応じ適切なエネルギーや栄養量が確保できるよう定めた栄養給与量をもとに献立を作成する									
			子どもの咀嚼・嚥下機能、食具使用の発達を促し、食嗜好や食体験が広がるよう季節感や地域性を考慮し、幅広い種類の食材を取り入れた献立となるよう配慮する									
			離乳食期の子どもに対しては、家庭での授乳や離乳食の進行状況等保護者と連携し、個々の状況に応じて対応し、適切に離乳が行えるよう配慮する									
			アレルギー等特に配慮が必要な子どもに対しては家庭での食事の状況や身体状況など、保護者や主治医と連携し、適切な対応をおこない栄養量の確保や情緒面の配慮をする									

食物アレルギーのある子どもへの対応

- 食物アレルギーが疑われるときには、医師の診断を受けていただき、その指示に従い、必要な対応をおこなう。
- 入所時の面談や定期的な調査、確認、日頃の保護者との関わりなどの中で連絡を密にし、保育所と家庭での対応に違いがないように心がける。
- 除去食、代替食の実施にあたっては、可能な限り対応し、身体発育に必要な栄養素が不足しないように、使用食材を調整する。基本的に主菜など、除去の対象となる食材が主として使用される場合は代替食での対応を、副菜など、使用する量が少ない場合は、除去食での対応をする。除去食の場合不足が予想される栄養素については、家庭で補っていただくよう、保護者にご協力いただく。
- 栄養面で不足がないように心がけるとともに、皆と同じものを食べたい子どもの気持ちを大切に、代替食でも同じような献立になるようする。また、通常献立作成の際にも、アレルギーの原因食品が重複しないよう心がける。
- 除去食、代替食については、調理、配膳における混入、取り違え、喫食時における誤食等のないよう、職員が互いに連携し、事故防止のための環境づくりをおこなう。
- 食品の摂取により、症状が現れた場合の対応について、医師の指示にもとづき、事前に保護者に確認し、適切な対応ができるよう認識をする。
- 成長にともない、アレルギーが改善することも予想されるため、むやみな除去、代替食の実施による、栄養面、心理面への弊害を防ぎ、定期的に医師の診察を受けていただき、アレルギーの状態に応じた対応をおこなう。



食育実施評価シート（例）

歳児

保育所

	計画で策定した年齢別重点目標を記入			
重点目標	ねらい	実施内容	評価・反省	特記事項
1期 (4～6月)	計画で策定した各時期のねらいを記入	実際に保育所で実施したことの内容を記入	実施した内容について、内容はよかったか、ねらいが達成できたかなど、評価・反省を記入	注意事項等記入すべきことがあれば記入
2期 (7～9月)				
3期 (10～12月)				
4期 (1～3月)				
総合評価	1年間を総合的にみて、重点目標等が達成できたか評価	＜次期への課題＞	＜次期への課題＞	目標の達成(評価・反省)を踏まえ、この年齢の子どもの次期への持ち越し課題または、次の年齢に実施する際の課題を記入

※ このシートを参考にして、各保育所で工夫して使用して下さい。